



輝け岩松っ子

学校教育目標 一人一人が輝く岩松っ子の育成
～ 高め合い 支え合い 磨き合い ～



学校便り 第8号
令和5年5月22日発行
小城市立岩松小学校
文責 校長 熊谷 智之

守り続ける思い

5月18日(木)に予定されていた祇園川クリーン作戦は、残念ながら、雨天中止となりました。その代わりとして、祇園川クリーン作戦が行われてきた経緯や新しくなった横断幕の披露をしました。

この祇園川クリーン作戦は、ホテルがすむ祇園川を自分たちで守り、ホテルを見に来る人たちに気持ちよく見てもらおうということで、平成6年に地域の方々と一緒に活動が始まったということです。始まった頃の祇園川には、自転車なども捨てられてあったということで、今の祇園川のきれいさは、地域の方々や子どもたちが、この活動を継続して取り組んできたからこそだと改めて思いました。

その活動の際に使われてきたのが「日本一 ホテルかがやく ぎおん川」の横断幕です。最初は紙で作られていましたが、長年使ってきたため、かなり傷みが激しくなり、今回テント地で新調しました。

今年は活動は中止になりましたが、来年以降も、新しい横断幕とともに、地域の自然を守るこの活動を続けていきたいと思えます。そして、子どもたちには、伝統を守ることやふるさとを大切にしようとする心を育てていきたいと思えます。



今年も始まりました！

5月20日(土)に、第1回「岩松寺子屋」がありました。この岩松寺子屋は、「岩松校区青少年健全育成会」の活動の1つとして、子どもたち向けに、平成24年度より取り組んでいただいております、10年以上の実績となります。

「郷土の良さを知り、郷土を愛する心を育て、子どもたちの地域への関心や学習意欲を高める」ことを主旨として、芋苗挿し・芋掘り、水鉄砲作り、餅つき、しめ縄作り、地域探訪等、内容は多岐にわたります。今回は「バルーン係留」でした。昨年度もこの企画には多くの子どもたちが参加しましたが、今回も約40人の子どもたちが集まりました。しかし、いざ準備をという時から風が強くなり始め、残念ながら係留飛行は中止となりました。

実は昨年度も、終わりかけに風が強くなり数人の子どもたちがバルーンに乗れませんでした。今回も含め、2度チャンスを逃した子どもたちには本当に申し訳なかったのですが、天気には勝てませんでした。ただ、地域の方々の活動に込めた願いを感じ取るためにも、岩松寺子屋へ積極的に参加してほしいと思えます。

